

東京都地理教育研究会

団体の概要

東京都地理教育研究会は、都立高校で地理を担当する教員の団体として、年3回の授業研究（うち1回は中学校の授業を見学）と年2回の巡検、GIS研修会等を中心に、授業力の向上を目指して活動をしている。また全国地理教育研究会とも連携し、全国大会の企画・運営等の事務部門も担当している。令和2年度は東京大会開催の計画で準備を進めてきたが、集会は中止とし、急遽オンラインでの代替大会を実施した。

研究テーマ

地理総合に向けて
～生徒が主体的に学ぶ
問いの設定～

研究のねらい

令和4年度から実施される新科目の先行研究を踏まえ、生徒の主体的な思考を促すための授業中の「問い」の設定を検討し、新科目の骨子となるGIS（地理情報システム）、国際理解、防災に関する資料提示の方法や教材作成力の向上、共有化をめざす。

研究の内容

経験豊富な教員と若手教員の授業を題材に、授業研究で授業力向上に向けた研究を行っているが、令和2年度は感染症対策で巡検を含む集会は全て中止とした。オンライン授業の導入に際して、5月には先行実施者の授業見学と質問、討議会を急遽オンラインで開催し、教材や技術の共有を図った。以降、GIS研修会などオンラインで可能な内容を模索しながら開催した。

研究の成果と課題

臨時休校の時期に研修と教材の共有化の働き掛けがなされたため、早くから内容の整ったオンライン授業を展開できた教員が多かった。画面上での資料提示も地理では有効とみなせることも多く、今後の授業づくりでも研究を進めていく。授業研究の代替として、考査問題作成の研究会をオンラインで急遽開催したが、これまでなかった機会だと評価する声が大きかった。

今後の活動予定

1月の巡検は中止とするため、年度当初の計画は終了となるが、若手教員への補佐や意見交換などをオンラインで適宜開催する予定。

代表者・連絡先

代表者：
都立戸山高等学校 統括校長 櫛野治和
連絡先：
都立青山高等学校 主任教諭 白川和彦
03(3404)7801

Kazuhiko_Shirakawa@education.metro.tokyo.jp